

東京建物三津寺ビルディング

高層ビルのピロティに本堂を納め 100年後に継承するプロジェクト

大阪の御堂筋に面した七宝山大福院三津寺は、江戸時代に建立された本堂や老朽化が進んだ庫裡をどのように次の100年につなぐかという課題に直面していた。東京建物株式会社が提案したのが、三津寺が所有する敷地に本堂を保存しながら、ホテルや商業施設からなる複合施設と一体的に建設するプロジェクト。15階建のビルの1~3階に設けられた3層吹き抜けのピロティに寺院、南側に商業施設を配し、中高層部には「カンデオホテルズ大阪心斎橋」が入居する。本施設の設計・施工を手掛けた大成建設は、本堂の上に容積を載せて敷地を有効活用する都市型寺院のあり方を立案。工事にあたっては、敷地内にあった本堂を曳き家で移設して上部にビルを建設、付随する庫裡は解体して低層部に新設した。

照明コンセプトでは「奥行や陰影」の表現を重視。夜間は本堂の破風や垂木、瓦屋根をスポットライトで際立たせている。また、周辺の御堂筋エリアは非常に明るい場所のため、環境との調和が課題となった。そこで、リアルタイム照明シミュレーションソフト「LIGHTNING FLOW」を用いて、街路照明による境内への影響を確認しながら、建築の造形美や奥行き感が出るように調整。照明手法としては、余分な影を打ち消す上向きの照明を配置したり、本堂の背後に奥行き感と後光のような演出を兼ねたライトアップ演出用調色型照明器具を6台設置。昼は色温度を高く、夕方から夜は低く変化させた。これにより、御堂筋周辺の光環境に調和しながら、寺院の力強さや風格を演出する光環境が実現されている。

所在地 / 大阪府大阪市中央区心斎橋筋
事業主 / 東京建物株式会社
設計・監理 / 大成建設株式会社
建設工事 / 大成建設株式会社
電気工事 / 東光電気工事株式会社
竣工 / 2023年9月



3層吹き抜けのピロティは寺院の境内となっており、本堂はライトアップ演出用調色型照明器具「ダイナベインター4」6台でメリハリを付けた照明と透過光で陰影と奥行を強調。境内はホテルのエントランスでもあるため、24時間、まちに開かれた寺院となっている



ビルの屋上ではホバリングスペースをライトアップ



夕方から21時までは周囲に合わせた色温度(3500K)に設定し御堂筋エリアの夜景と調和



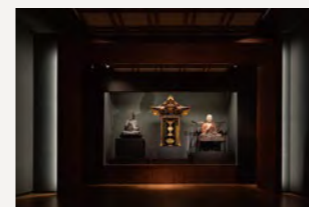
間接照明を主体とした庫裡にある茶室



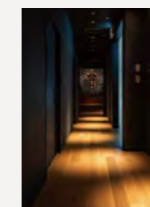
手水鉢を照らすグレアレスダウンライト



御堂筋の環境光なし



配光可変型スポットライトを用いた展示ギャラリー



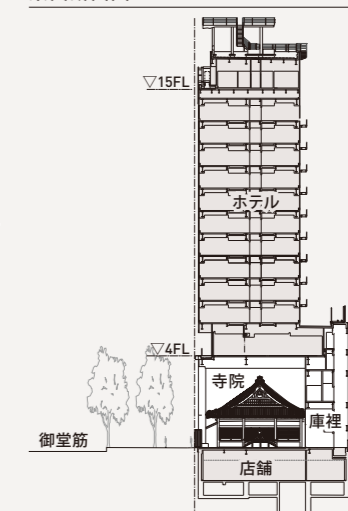
飛び石をイメージした光だまりの演出



御堂筋の環境光あり

「LIGHTNING FLOW」により、御堂筋の環境光が境内にどのように影響するかをシミュレーション

東西断面図



主な納入設備

- ライトアップ演出用調色型照明器具
- LEDスポットライト
- LEDグレアレスダウンライト
- LED建築化照明器具